

## 厚木市マスコットキャラクター「あゆコロちゃん」使用に伴う留意事項

### 1 着ぐるみ着用等に伴う留意事項

着用等に際しましては、次の事項に留意し使用してください。

#### (1) 着用者について

着ぐるみは、原則として、身長 155cm 以上 175cm 以下の方とし、体調のすぐれない場合は遠慮してください。着ぐるみの構造上 165cm 以下の方が着用するのが可愛らしく見えます。また、着ぐるみは視界があまりよくない上、構造や素材の関係で動きが制限されるため、着用者は周囲の状況に十分注意してください。

#### (2) 介添者について

着ぐるみを着脱する際は、必ず介添者を 1 人以上つけ、控室等において周囲の人目にふれないよう着脱してください。また、着ぐるみ着用者の視界は非常に狭くなるため、演技中や移動時においても必ず介添者をつけることとし、周囲の器物や人にぶつかったり、転んでケガなどしないよう、常に注意を払ってください。

#### (3) 着用時間について

着ぐるみ内部は高温、多湿となるため、1回の使用を 30 分程度（夏季は 15 分程度）とし、十分な休憩をとるとともに、水分補給を行ってください。複数人が交代で着用することが望ましいです。

#### (4) 服装について

着用の際は、以後の使用者が快適に使用できるよう、素肌が直接着ぐるみに触れないよう、長袖シャツ（汗を吸いやすい綿等の生地のもの）、ズボン（ジャージ、スパッツ等）、靴下、手袋（軍手等）、バンダナ（頭部）を着用し、着替えも用意してください。

#### (5) 天候等について

着ぐるみの雨天における屋外での使用はできません。天候が変わった場合は、速やかに撤収してください。また、火気、水気には絶対に近づけないでください。

### 2 着脱の方法

着脱に当たりましては、次の手順で行ってください。

#### (1) 着用するとき

ア 着用者は、長袖シャツ、ジャージ等の軽装になり、手袋、バンダナを着用する。

イ 介添者と胴体（前後あり）をかぶり、身長にあわせ肩ベルトで長さを大まかに調節する。

ウ 胴体に衣服（つなぎ）をかぶせ、マジックテープで固定し、背中のファスナーをしめる。

エ 衣服の上にハッピを着て、マジックテープで固定する。

オ 靴を履き（靴下着用）、ズボンと靴をマジックテープで固定する。

カ 介添者は頭部を被せ、ヘルメットに着用者の頭を固定した上、頭部と胴体を頭部後部のマジックテープで固定する。

#### (2) 脱ぐとき

ア 介添者は、頭部と胴体のマジックテープをはずすとともに、頭部をはずす。

イ ズボンと靴のマジックテープをはずし靴を脱ぐ。

- ウ 胴体を脱ぐ。
- エ 軍手などの手袋をはずす。
- オ 胴体の内側の水分や衣服の汚れなどを清潔な布で拭き取り、消臭剤を吹き付ける。
- カ 持つ際は鼻や耳、頭のアユなどのパーツを持たず、収納する際は、破損しないよう注意し、収納カバーに入れる。

### 3 演技の際の留意事項

#### (1) 装着者向け

着ぐるみ装着者は、次の事項に留意し演技してください。

##### ア 動きについて

(ア) 動きはオーバーアクション気味に動く。

着ぐるみは手足が短いので、意識的に大きく動かないと見ている側には着ぐるみの動きが小さく見える。

(イ) 小さな子供との握手は、できるだけ低い体勢で行う。

子どもは大きな着ぐるみに見下ろされる感覚になり、恐怖心を抱くことがある。

(ウ) 子どもを抱きかかる行為、イメージダウンにつながる行為は厳禁。

##### イ 発声について

(ア) 着用中は声を出さない。(特に介添者との雑談は厳禁)

あゆコロちゃんのキャラクターイメージを壊さないため。

(イ) 着用者の感情は表に出さない。

不都合な事態は介添者に対応してもらう。

(ウ) 介添者との間に「緊急事態」「トイレ」などを知らせるサインを決めておく。

周囲の人から殴る蹴るなどの行為を受けた際も、介添者へのサインで対処する。

##### ウ 移動について

(ア) 進行スピードや方向については、介添者の指示に必ず従う。

着ぐるみのサイズが大きく、視界が狭いため、目の届かない部分は介添者の指示に従う。

(イ) 走る行為は厳禁。

事故につながる可能性がある。

##### エ 環境について

(ア) 必ず、一定の時間を守り着用する。基本は30分程度(夏季は15分程度)ごとに休憩をとること。無理・無茶な行動は絶対にしない。

炎天下での着用は時間を調整し、水分補給は必ず行う。保冷剤での体の冷却も効果的。

(イ) 火気のそばには引火の危険があるので絶対に近寄らない。

着用したままの喫煙は厳禁。

(ウ) 雨天の日には屋外に出さない。

着ぐるみの足は大変滑りやすいので、転倒する危険や修復不可能な汚れになる場合がある。

(エ) 着ぐるみは、構造と素材の関係から小さな歩幅しか歩くことができないため、長い距離を歩く、階段・段差を越えることは難しいので注意が必要。

## (2) 介添者向け

着ぐるみ介添者は、次の事項に留意し介添えしてください。

### ア 位置について

(ア) 着ぐるみとは「付かず離れず」を心がけ、緊急時の際にはすぐ対応できる距離にいる。

(イ) 必ず、着ぐるみの斜め前あたりから先導し、必要なときは手を引いて着ぐるみの歩行を補助する。

進行方向や人、障害物の存在を確認し、着用者に伝えるため。子どもなどの突進は必ず止める。

(ウ) 介添者が2人以上付く場合は、前後に分かれる。

着ぐるみが振り返るときなど後方は危険。

### イ 声かけについて

(ア) ポイントでは、必ず状況を着用者へ知らせる。

(イ) 握手・写真撮影は、必ず正面からあゆコロちゃんにオーダーするようにする。

声かけは、親しげに着用者ではなく、あゆコロちゃんへ声をかける。

例：「あゆコロちゃん、お友達が握手したいそよう！」

「あゆコロちゃん、前に階段があるから気をつけてね！」

(ウ) 控室の外で、着用者と雑談をしない。

### ウ 対応について

(ア) 周囲の状況に絶えず気を配る。

着用者は周囲がほとんど見えないので、声かけにより周囲の状況を知らせてあげる。

(イ) 着用者の様子に気を配り、無理をさせないようにする。

出演時間はあらかじめ決めておき、時間管理の上、切り上げるタイミングも考えておく。延長は避ける。

(ウ) 着ぐるみに危害を加える人には、毅然とした態度で注意する。

(イ) お客様からの「入ってるの、男？女？」などの質問へは、「あゆコロちゃんは、あゆコロちゃんですよ！」とこやかに答える。

あゆコロちゃんのイメージを守るため、着用者が誰かということについて答えることはしない。

(オ) 握手や写真撮影の際、人の整理を行う。

可能であれば、介添者も事前に着ぐるみを着用（体験）しておくと望ましい。

お問合せ先 厚木市産業文化スポーツ部 商業観光課

〒243-8511 厚木市中町 3-17-17

TEL : (046)-225-2820 FAX : (046)225-3732

E-mail : 3800 @city.atsugi.kanagawa.jp